

学校だより

天狗山のふもと 地域と共に育つ 学びあふれる学校



やまのて

学び合い ひびき合い きたえ合い

令和7年1月31日

第10号

小樽市立山の手小学校

小樽市花園5丁目2番20号

TEL 32-2200

「目的をしっかりと考え よりよい行動を」

校長 伏間 公洋

例年よりも穏やかな天気にも恵まれた中で3学期が始まりました。山の手の子は、新しい年を迎え、教室での学習やスキー学習などにおいて、新たな気持ちで挑戦する姿を見せてくれています。3学期は1年間の締めくくりであり、進学や進級の準備をする大切な時期でもあります。これまでの学びをまとめ、これからの目標をしっかりと見据えながら、一日一日を大切に過ごすことを期待しています。

地域や保護者の皆様におかれましては、子どもたちが元気に登校できるよう、体調面や安全面で細やかな心配りをさせていただいていることに深く感謝申し上げます。3学期も変わらぬご支援とご協力をお願いいたします。

さて、始業式では、3学期を充実した日々にするために、「目的をしっかりと考え よりよい行動をしてほしい」という願いを込めて、次のような話をしました。

『山の手の子のみなさんが、健康や安全に気を付けて冬休みを過ごしてくれたことを嬉しく感じます。さて、3学期をしっかりと過ごすために大切にしてもらいたいこととお話します。それは、「何のために行うのか（目的）」を考えることです。

- ・交通安全に気を付けるのは、大切な命を守るためです。
- ・学校や家での学習を行うのは、自分を磨き高めるためです。

目的をしっかりと考えてから臨むと、その目的に合った行動をとることができます。

- ・考えが変わると行動が変わります。
- ・行動が変わると生き方が変わります。
- ・生き方が変わると人生が変わります。

みなさんは、自分の人生の主人公です。自分らしいよりよい時間を過ごすことを期待しています。一人一人が自分を高め、高まった一人一人が集まってよりよい学校をつくっていきましょう。』

山の手小学校では、「子どもは地域の宝である」という理念のもと、学校・家庭・地域が、山の手の子の未来を見据え、力を合わせることをお願いしています。これからも、地域の子を地域で育てることに協力をお願いいたします。



学校情報化優良校に認定されました

「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の指定校として、端末を有効活用したり、情報モラル教室をはじめとする情報教育や校務の情報化に力を入れています。こうした取組が認められ、1月2日に日本教育工学協会より学校情報化優良校の認定を受けました。これは、文部科学省が後援する事業となっています。今後も、教育の質の向上を目指した取組を進めていきます。

□ ～着任しました よろしくお願いたします～ □

・〇〇 ○教諭 やまびこ学級担当（これまで、2・3年生算数少人数指導を担当していました）

子どもたちの安全を守るために

登下校の安全

「登下校の時間帯は子どもが一齐に学校を出入りするため、学校の許可を得たご家庭以外の方が、校門を越えて学校敷地内への車輛の乗り入れをしないよう、何卒、お願いいたします」という趣旨のメールを tetoru で数回送信いたしました。いつも以上に多くのご家庭がご協力くださっているのを感じています。改めまして、深く感謝を申し上げます。

『子どもの安全を守る』ことは、地域・家庭・学校の共通した願いです。学校まで、家までの登下校時、山の手の子は「右見て、左見て、車見て」の合い言葉を自覚して、緊張感を高めて歩行しています。冬は上と下も見なければいけません。校門をくぐり学校敷地内に入った瞬間、緊張状態から解放され、ほっとして児童玄関までの通路を歩いていることと思います。学校敷地内を山の手の子にとって安全な場所とすることは、学校ができること、やらなければならないことであると自覚しています。

今週になり、登下校時の車輛の進入は一段と少なくなり、安全性は向上しているものの、数台の車輛が校門を越えている状況があります。『山の手の子の安全を守る』という共通の願いの実現に向けて、一層のご理解とご協力を今一度お願い申し上げます。

虐待への対応

児童虐待防止法には、虐待（身体的・性的・心理的・ネグレクト）が疑われる場合、学校は市の担当課等へ通告する義務があると定められています。疑わしい状況では、ためらうことなく市の担当課との連携を図ることにより、子どもを守り通します。本日、紙面で配付の資料をご参照ください。



いじめへの対応

山の手小学校では、いじめはどこの学校でも、どの学級でも起こりうるという基本認識に立ち、本校児童が楽しく豊かな学校生活を送ることができるよう、いじめ防止基本方針を策定し、未然防止や早期発見、早期対応の取組を推進しています。

今後も、「いじめはどんな場合でも許されることではない」ということを指導していきます。

2月の主な行事等

その1 スキー学習

小樽の小中学校で、3学期の体育といえば『スキー学習』。本校でも1月16日（木）に6年生の天狗山でのスキー学習を皮切りに、3学期のスキー学習が始まりました。

ご家庭には、スキー学習に向けた準備や当日のお弁当の用意をしていただいています。ボランティアの皆様には、スキー指導の補助やロッジでの見守りはもとより、花園グラウンドまでの道をつくっていただいたり、スキーケースを預かっていただいたり、本当にお世話になっています。楽しくスキー学習ができていくことに、お礼申し上げます。

その2 歌声集会

「ゆたかに ひびき合い」（学校教育目標）の実現を目指し、年間を通じて行っている歌声集会ですが、2月はいつもの月よりも回数を多く行う予定です。

様々な場面で最上級生として取り組み、よき手本となり続けている6年生の卒業を祝うために、心を込めて歌声づくりを行います。

その3 新1年生体験入学 14日(金)

喜びと期待をもって入学する新1年生に学校生活を体験してもらい、学校に対して親しみをもってもらうことを目的として体験入学を行います。

新1年生53人（予定人数です）と交流するのは1年生です。新1年生に優しい気持ちで接する1年生の姿を見るのが今から楽しみです。

※新1年生保護者への説明会を同時開催します。

その4 ALT来校外国語の学習5日・6日

ALT（外国語指導助手）が来校して、全学年で外国の文化に触れたり、外国語を聞いたり、話してみたりする学習を1月から行っています。ALTからの自己紹介を聞いた後に質問をしたり、外国語を用いたゲームなどの活動を行ったりします。



2月には、今年度最後の授業参観・保護者会を行います。各回毎に全体懇談を設定し、今年度を振り返るとともに、次年度の教育活動についてお知らせしたいと考えています。ご多用の時期とは存じますが、ご来校をお待ちしております。